

社内での産業カウンセラーになる近道と思い、10年ほど前に産業カウンセラー、キャリアコンサルタントの資格を取得いたしました。また、その希望はかなっていませんが、その時に学んだ実践的な「傾

ナビゲーター

聴」スキルは、仕事やプライベートでも大いに役立っています。

私は「デールカーネギーセミナー」や「七つの習慣セミナー」も受講しましたが、そこでの行動原則や習慣の実現のためにも、「傾聴」は欠か

産業カウンセリング理論と私の実践

◆ 23

せないスキルです。「傾聴」を繰り返すことで、「七つの習慣」の良き人間関係ができて、「人を動かす」（人に動いていただく）ことも可能となります。

特に「傾聴」が役に立った経験は、「プロボノ」活動をした時でした。「プロボノ」とは、職業上のスキルや専門知識を活かして取り組むボランティア活動です。

私は「中部プロボノセンター」と愛知県の協働事業「プ

「傾聴」は人生100年を生きる強力な術

ロボノ in 愛知」に参加しました。この時は初対面の方数名とチームを組み、NPOの課題解決にチームで取り組むという活動でした。NPOも自分たちで選ぶ訳ではなく、指定されたNPOに入りこんでの活動です。何もかもが初めてなので、まずは、相手を知らず、理解することが必要でした。当然、この時の相手は、NPOの方たちとチームメンバーの両方です。

「傾聴」しながら、自分の

意見も考えなければいけないので、かなり大変でした。普段使わない言葉も出てきます。例えば「横展（よこてん）する」と聞いた時、それは何かわかりません。私は「水平展開する」という表現を使っていましたので、表現だけでなく、考え方も、課題発掘の仕方や取り組み方のアプローチもかなり違いました。企業・業種の違い、個人の資質、年齢差もあるのでしょうか。何度

も話しあいながら、この活動が、NPOにとって、本当に成し遂げたいことなのかを確認しながら進めました。最後のプロボノ報告会では、私たちが達成感ある報告ができました。この時のメンバーとは今も交流があります。「プロボノ」は、ボランティアの範疇（はんちゆう）を越え、大いなる学び、成長ができる場でもあったように思います。

最近では、自身の住んでいる地域に対してどんな貢献ができるかを考え、活動しています。今は、大府市の生涯学習審議会メンバーとして、生涯学習のあり方を考えています。実態把握するためのヒアリングでも、「傾聴」が役立っています。年齢に関係なく、自らの意志で学び続ける（心と身体）の学びも含む）方たちは生き生きと生きていて楽しそうです。

これからの人生も「傾聴」を大切に、「その方の素晴らしい」を見出し、活動していきたいと思っています。

【日本産業カウンセラー協会中部支部会員 石黒公子】

（火曜日に掲載）

プロボノ活動での活用事例

